



元気っ子通信

No.49

平成 24 年 7 月 11 日

子ども達の日頃の遊びの中から撮った写真を DVD にしました。
私がいろいろ書くよりもこれを見ていただければ、子どもの育ちに「仲間」と「遊び」がいかに大切であるか
がおわかりになると思います。

本来「遊び」は子ども主体であるものです。指導員は見守りながら遊ぶ中で言葉がけをします。毎日毎日繰り返される「あそび」の中で、子ども達は将来に向かって土台作りをしていっています。
「仲間」との喚声、いさかい、笑い、涙などの全てが子ども達の心と身体をたくましく、豊かに育ててくれる
のだと信じています。

おやつ、宿題、お帰りのけじめができていない子が多いように思います。今、何をするときなのかを考え
られる子に育ててほしいと願っています。周りに言われないと気付かない、出来ないでは、これから先のこ
とを思うと本人が一番困ります。子供はどんどん成長します。いつまでも大人が横で口うるさく言うのを聞
いてはくれません。「この先」を見据えながらの子育てをしていきましょう。

もう夏休みです。一番の楽しみである「おんべ川行き」が始まります。プールとは違う実体験です。丸ごと
と自分の力となっていくことでしょう。

夏休みの時間の流れ

9 時半頃まで	学習
10 時以降	外遊び(川など)
正午～2 時	昼食 休養
お帰りまで	おやつ、外遊び

持ち物

お弁当(クーラーボックスで)
水筒 着替え 帽子
水着 タオル(学校使用のもので)
ビーチサンダル
休養時のバスタオル

夏の日差しの強い中で外で活動しますので、「帽子」は絶対にかぶることを習慣づけてください。
毎年、忘れる子が一日に何人かいて困ります。



以上